平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	27		
会計	一般会計				
事務事業名	企画調整事務	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	飯田市庁議規程	

事業目的		
	対象	市政の課題
	意図	適正に調整する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・社会経済情勢の変化や国の取組に呼応するための対応など、幅広い市政の課題を調整するために、専門的な知見や分野横断的な連携体制が求められます。 ・情報収集や人的ネットワーク構築の取組を広げ、関係する団体との連携・交流を通じて、市政に有用な情報や効力を見定め活用することが重要です。

30年度取組

取組内容

人口減少や地方分権など地方自治体を取り巻く課題が変化し、従来型の発想だけでは地域経営が成り立たない状況のなか、市政経営に係る高度で専門的な情報を収集するとともに、関係する機関や幅広い人的なネットワークを構築することにより、様々な地域課題を調整します。

既成概念にとらわれない考え方や事業構想力を学びながら、庁内外へ広めていき、新たな発想や工夫を取り入れる「成長思考」によるまちづくりを推進します。

経費の内容	事業費(千円)
国、県等会議参加旅費	617
全国過疎地域自立促進連盟負担金	50
スローライフサミット負担金	30
南信州アルプスフォーラム補助金	270
その他の経費	433

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
出張回数	回	24	24		
政策協議開催	回	24	24		
部長会議開催	回	15	15		
主管課長会議開催	回	12	12		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	1,400	(そ) 諸収入　20千円
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	20	
一般財源	1,380	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	10	1	1,050 / 0	企画調整費
2	1	2	1	9	10	2	350 / 0	各種負担金
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 27　事業名 企画調整事務　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	28		
会計	一般会計				
事務事業名	大学とのネットワーク構築事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	飯田市が情報や知見などを得るために必要とする大学、大学の知見等を必要としている地域等
	意図	飯田の価値を高めるとともに人的ネットワークを活用した教育・研究活動等の展開を通じて、当地域の学術研究機能の発信や地域振興、人材育成を進める

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	学輪IIDAのネットワークが広がる中、具体的な成果や次への展開が求められている。このため、連携事業を見える化し市民等に周知するとともに、地域と大学のマッチングや具体的な課題を議論する場の構築などが必要となります。併せて、飯田をフィールドとした魅力的な学習プログラムの実践やコアとなる学輪IIDAの求心力を更に高めていく必要があります。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	1　飯田をフィールドとした学びの活動 学習プログラム実施、大学や研究者の教育・研究活動の支援等 2　「学輪IIDA」による人的ネットワークの構築 全体会公開セッション開催、機関誌発行、プロジェクト会議の実施、情報発信等 3　域学連携事業の推進 人的ネットワークを活かした地域課題の解決 4　高大連携事業の推進 複数大学と高校による共学カリキュラムの構築・実践・検証等 5　域学連携交流施設の整備 大学等が滞在し地域と連携した取組を進める活動拠点の整備	フィールド活動費	286
		学輪IIDA事業費（全体会、機関誌発行等）	2,412
		域学連携事業費	1,931
		高大連携事業費	1,266
		域学連携交流施設整備事業費	25,000
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	学輪IIDAに参加している大学研究者数	人	95	118		
	大学との連携事業、プロジェクト数	件	11	12		
	飯田で学習・調査研究をした学生等の数	人	800	850		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	30,895	（そ）諸収入
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	100	
	一般財源	30,795	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	5	30,895 0	大学とのネットワーク構築事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 28　事業名 大学とのネットワーク構築事業　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	29		
会計	一般会計				
事務事業名	三遠南信地域交流事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		三遠南信地域連携ビジョン
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	市民
	意図	三遠南信を中心とした東海地域との交流・連携を深めます

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	平成29.30年度、新三遠南信連携ビジョンを策定しています。三遠南信地域の交流の必要性を感じている市民は多いのですが、実際に交流事業に参加している市民は少ないため、更なる連携・交流に通ずる事業を展開していく必要があります。

30年度取組

取組内容

1　三遠南信地域の広域連携を推進するための取り組み
（1）SENA構成団体としての取り組み
総会・幹事会などへの参画、サミット開催の支援・参加
（2）新たな連携の検討（広域連合、連携中枢都市圏など）
2　市民交流活動への支援
（1）南信州交流の輪への活動支援（会議運営、事業補助等）
（2）三遠南信住民ネットワーク協議会へのオブザーバ参加（情報交換等）
3　市民への啓発活動（情報収集・情報提供等）
市やSENAのウェブサイト等を利用した情報発信を行い、三遠地域を中心とした東海地域への市民意識の向上を図る

経費の内容	事業費(千円)
三遠南信連携ビジョン推進	317
三遠南信サミット費用	111
市民活動支援事業費	14
三遠南信地域連携新ビジョン策定負担金	1,000
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
SENA等会議出席回数	回	20	23		
市民交流機会創出	事業	10	10		
情報発信	回	12	12		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	1,442	（国）地方創生推進交付金（1／2）
国庫支出金	500	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	942	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	6	1,442 / 0	三遠南信地域交流事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 29　事業名 三遠南信地域交流事業　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	30		
会計	一般会計				
事務事業名	総合計画推進事務	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始	H19	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		自治基本条例
				いいだ未来デザイン会議条例

事業目的		
	対象	いいだ未来デザイン2028（総合計画）
	意図	取組を評価し、改善や工夫による向上を図り、地域のビジョンを実現する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・多様な主体の市政推進への参画は、委員が戦略計画を評価し、共に事業を立案・推進するという考え方で進めていますが、この評価という方法だけで成り立つものでなく、地域における様々な活動や事業と連動した推進が重要です。 ・行政評価システムは、評価に係る時間や労力などの省力化が求められており、その時間を有効活用するなかで、新たな発想に基づく戦略計画の策定が求められています。

30年度取組

取組内容

当事者意識と共創により取り組む「いいだ未来デザイン2028」の戦略計画を基軸に議論し、挑戦と学習を繰り返し、それらを評価することによって新たな発想を広げ、効果的、効率的な行政運営を図ります。

戦略計画に係る自己評価（当事者による共創のプロセス）と、市議会、市民委員会（いいだ未来デザイン会議）による外部評価を行います。

事務の減量化や庁内マネジメントシステム（予算・決算、組織目標管理、環境ＩＳＯ）の効率化を目的に、昨年度導入した「事務事業進行管理表システム」を維持管理する中で、より効果的なシステムの運用を確立させます。

経費の内容	事業費(千円)
いいだ未来デザイン2028推進	671
事務事業進行管理表システム保守	157
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
いいだ未来デザイン会議開催	回	3	3		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	828	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	828	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	20	828 / 0	いいだ未来デザイン推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 30　事業名 総合計画推進事務　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	32		
会計	一般会計				
事務事業名	ふるさと飯田応援隊募集事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始	H20	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	地方税法	
			所得税法	

事業目的		
	対象	全国民、市内の地域産品を取り扱う事業者
	意図	飯田市の魅力の発信、飯田市の取組・事業の応援、飯田市の地域産業の活性化を複合的に行う。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・寄附の募集は、全国的な盛り上がりが影響すると考えられますが、飯田市の魅力を効果的に発信する返礼品となることを重視するとともに、節度ある返礼品の選定を行う必要があります。 ・引き続き魅力発信のための新たな返礼品の選定や、寄附者の満足度を高める対応が必要です。 ・寄附者の志を、各種の取組・事業につなげられる仕組みを検討する必要があります。

30年度取組

取組内容

ふるさと寄附金制度を利用して、当市に寄附をいただけるよう、専用ウェブサイトへの登録、パンフレットの作成・配布により募集を進めます。寄附をいただいた方には、お礼状と広報紙を送付し、飯田市の情報を届けるとともに、地域の特産品を贈呈し、地域産業の活性化を図ります。

また、寄附金で応援していただく取組（寄附の目的）については、寄附者がより飯田市を応援したくなる気持ちが高まるよう、いいだ未来デザイン2028（飯田市総合計画）の未来ビジョンにある目指すまちの姿の実現に向け、戦略計画の取組を応援していただき、飯田市への関心と参加意識を高めていきます。

経費の内容	事業費(千円)
返礼品調達代金	58,500
代行業務	21,125
PR経費等	1,535
その他の経費	1,737

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
ふるさと納税申込件数	件	12,000	12,000		
PRパンフレット作成、配布	部	2,000	2,000		
首都圏・中京圏でのPRパンフレット等配備	カ所	2	2		
イベント、バス停等での周知活動	回	3	3		
返礼品協力企業数	社	19	20		
返礼品登録数	個	100	100		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	82,897	ふるさと寄附受納見込み　150,000千円
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	82,897	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	22	82,897 / 0	ふるさと飯田応援隊募集事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 32　事業名 ふるさと飯田応援隊募集事業　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況